

ジオパークの視点に基づく観光資源の再評価と生涯学習

香川大学工学部 正会員 ○長谷川修一
香川大学工学部 鶴田 聖子
香川大学工学部 寺林 優
四電技術コンサルタント 田村 栄治

1. はじめに

ジオパークとはユネスコの支援のもと、世界ジオパークネットワーク並びに日本ジオパークネットワークが推進する大地の公園で、自然遺産の保全とともに地域の教育や活性化を目的としている。香川大学では平成 22 年度公開講座として「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形と地質に関する名所(ジオサイト)を訪ね、その成り立ちと自然と石の文化について学習した。また、土木学会四国支部助成金の支援によりガイド資料を作成したので、その成果を報告する。

2. ジオパークとしての素材

讃岐は世界に類のない石と文化のジオパークになる以下の素材がある。

① 讃岐平野のミニ富士山

飯野山等のミニ富士山と屋島などの崖に囲まれた台地はともに約 1400 万年前の瀬戸内火山岩類に属する溶岩が長年の侵食によってできた自然の造形美である。

② 瀬戸内火山岩類を形成したマグマの成因

この讃岐平野特有の景観を作った瀬戸内火山岩類のマグマについては、小豆島のサヌキトイドを題材にした異好幸(2003)による世界的なマグマの成因論がある。

③ 瀬戸内火山岩類等を石材とした多様な石の文化

旧石器時代から瀬戸内を席卷したサヌカイト石器、畿内地方の石棺に使用された鷲ノ山石等、中世の石造物に使用された天霧石、江戸時代に桂離宮の石灯籠等に使われた豊島石、庵治石を産する日本一の石の町、世界を魅了したサヌカイト楽器等、讃岐は多様な石の文化の伝統がある。

3. ガイド資料

平成 22 年度は表 1 の 8 箇所と全体説明の資料を作成した。平成 23 年度は表 2 の 8 箇所の資料を作成する計画である。ガイド資料の例(屋島)を図 1、図 2 に示す。

4. 成果

本活動によって、見慣れた景色に隠された自然災害(例えば 1707 年宝永地震による五剣山の崩壊)の理解が深まり、開発の負の遺産とされる採石場法面が素晴らしい地質遺産であることが確認され、防災教育や建設業への理解にもつながる可能性がある。

表 1 平成 22 年度公開講座日程

月日	コース	見どころ
5月16日	ガイドス(石の民俗資料館)・五剣山と庵治石	八栗寺磨崖仏、崩壊転石、庵治丁場
6月20日	屋島の名跡	雪ノ庭、豊石、屋島洞窟、屋島の黒石
7月18日	雨滝自然科学館と火山石石棺	日本最古のナマズ化石、火山
8月22日	小豆島	寒露溪、中山千枚田、大坂城跡残石公園
9月19日	ガイドス(石の民俗資料館)・高松クレーターと由良石	由良石採石場、高松クレーター
10月17日	五色台周辺地域のサヌカイト	金山のサヌカイトと楽器
11月21日	飯野山(讃岐富士)と丸亀平野	讃岐富士、扇状地、活断層
12月19日	弥谷寺と天霧石	宗吉瓦、弥谷寺の磨崖仏、天霧城址
平成23年1月23日	ガイドブック発表会(香川大学生涯学習研究センター)	室戸ジオパーク推進委員会 柴田伊廣氏講演会「室戸ジオパークの取り組み」

表 2 平成 23 年度公開講座予定

月日	コース	見どころ
4月24日	高松市峰山と栗林公園	峰山・栗林公園
5月22日	豊島石と地すべりによる棚田	家浦八幡神社・檀山・唐櫃の棚田と清水
6月26日	観音寺市有明浜と江南山	有明浜・江南山・七宝山
7月24日	香東川と塩江温泉	塩江温泉・花崗岩と和泉層群の不整合・中新世流紋岩と熱水作用
9月4日	国分寺と鷲ノ山石の石棺	鷲ノ山の丁場・石舟石棺・国分寺・サヌカイト
10月23日	長尾断層と嶽山	長尾断層露頭と最新の断層変位を示す低断層崖
11月27日	大森山と金毘羅神社	大森山の讃岐層群と花崗岩との不整合 金比羅神社からの讃岐平野
12月25日	女木島と男木島	鬼ヶ島洞窟・柱状節理・ジイの穴・タンク岩(柱状節理)
平成24年3月	報告会(高松市内)	成果報告

キーワード ジオパーク、瀬戸内火山岩類、石の文化、讃岐、
連絡先 〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20 香川大学工学部 Tel:087-864-2155

